

煙
草
洗
腦
2







← 夫

Q ≡

あなた、今日は早く帰ってくるんでしょ？

久しぶりにワインでもどう？
あなたの好きなやつ買っておいたよ

夫

あー……今日はちょっと忙しくなりそう。
ごめん、ほんとに……

そっか。しょうがないよね。

ただ、久しぶりに二人だけの
時間を過ごしたかったのに……

夫

その代わり、明日は休みだから
映画でも観に行かない？

……違うよ。私が望んでるのはそん
なことじゃないって、わかってるでしょ。

夫

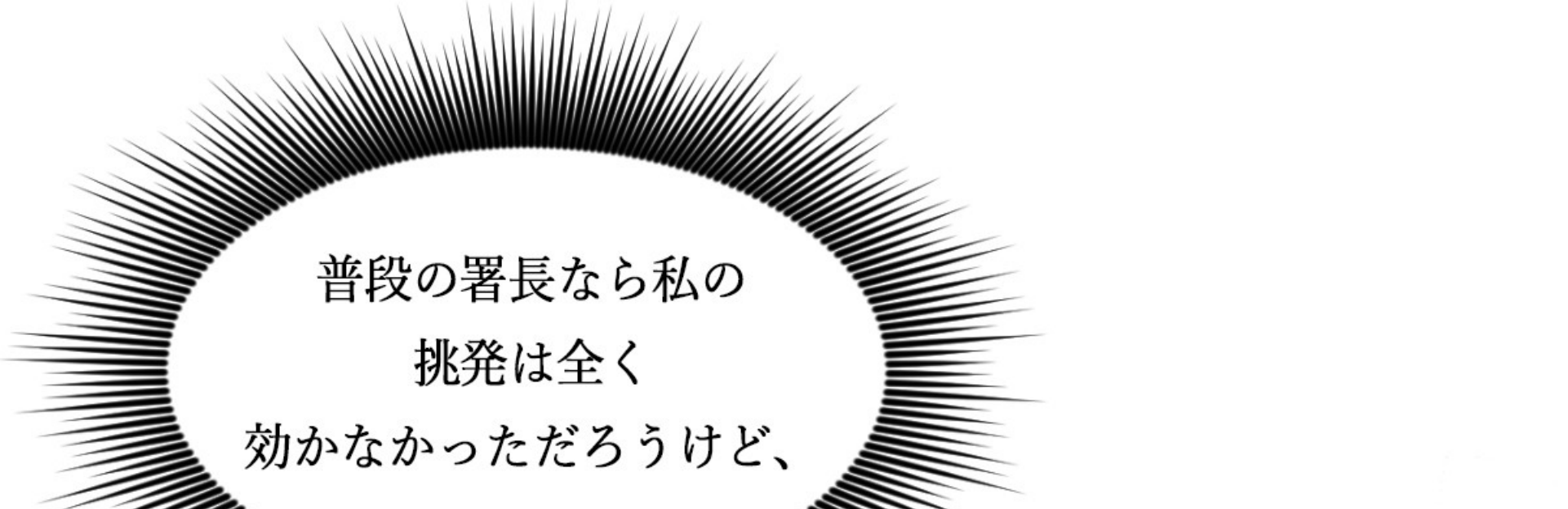
ごめん……最近本当に疲れてて。
体調が戻ったら、必ず……

あなたと最後に体を重ねたのがいつだったか、
もう思い出せない。



AI Generated





普段の署長なら私の
挑発は全く
効かなかっただろうけど、



今は思春期の
少女よりも...

アハハハ♡

プク

メンタルが
弱くなった状態。



いくらなんでも...

そんなに
無慈悲に投げるとは...

ひどすぎるよ...



うっ...!

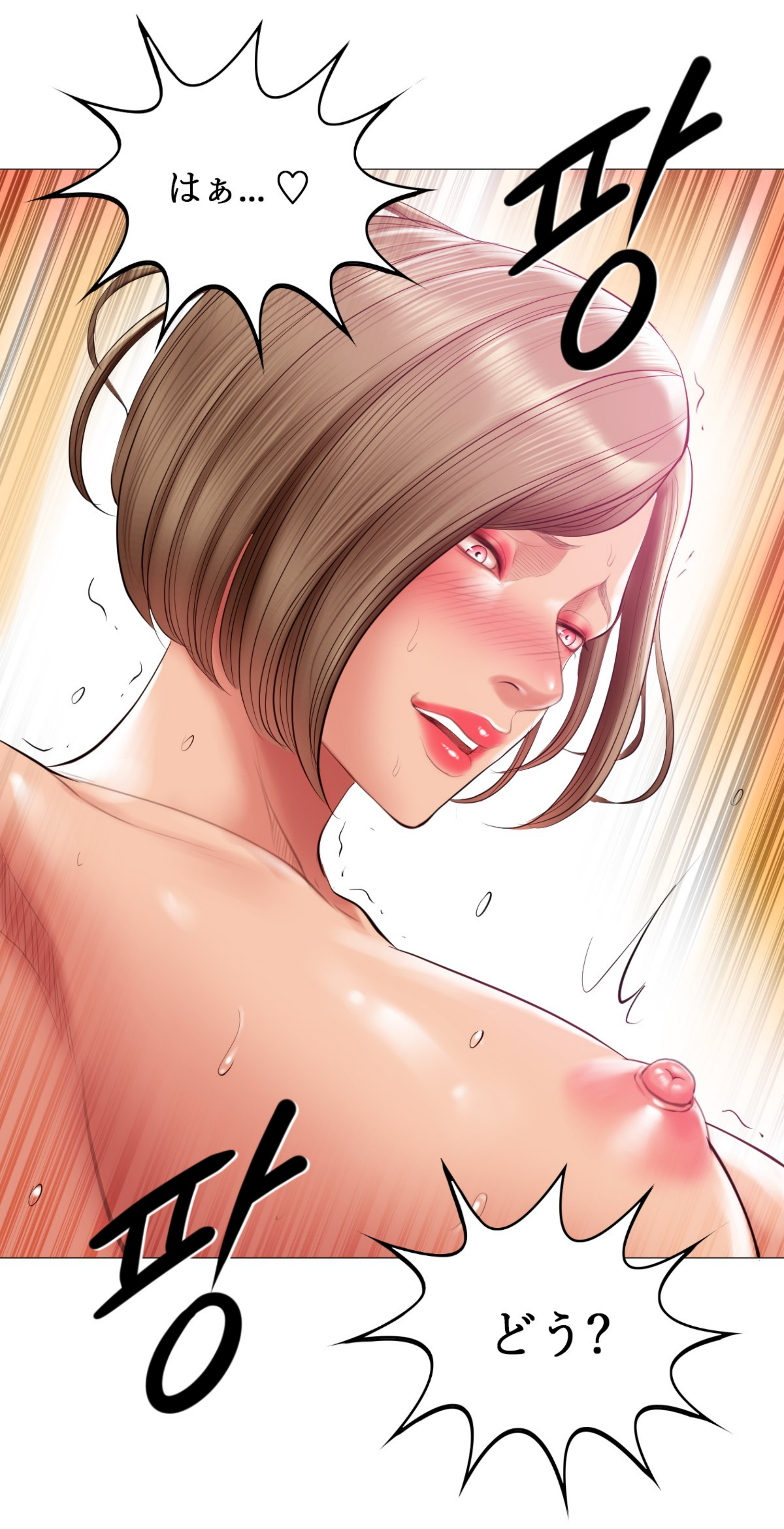


全く疲れを知らないな...!

팡

팡

実に驚異的な体力だ...



はあ...♡

팡

どう?

팡



こ、
これでも...

私があ
小娘より劣るの？

ふっ！いや。

ただちょっとからか
っただけだよ。

君をあんなつまらない女と
比べるわけじゃないか？

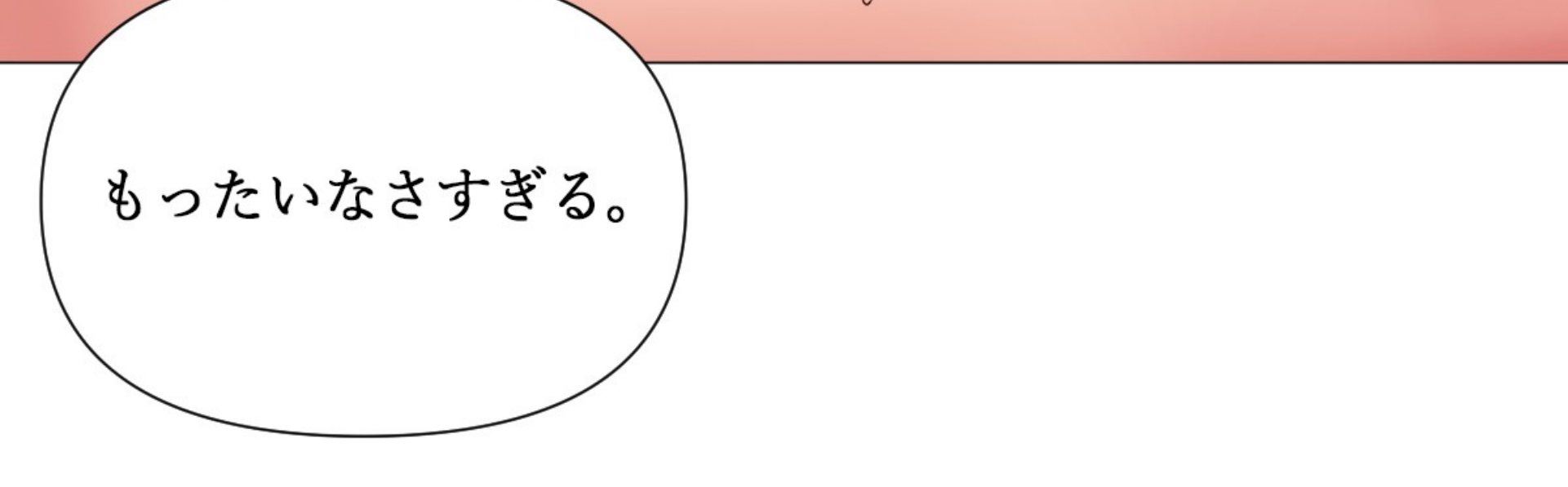
....え？

君の抑圧された
欲望を引き出すために、
わざと刺激したんだ。

君は自分の持つ能力とまったく
釣り合わない人生を
生きているからね。



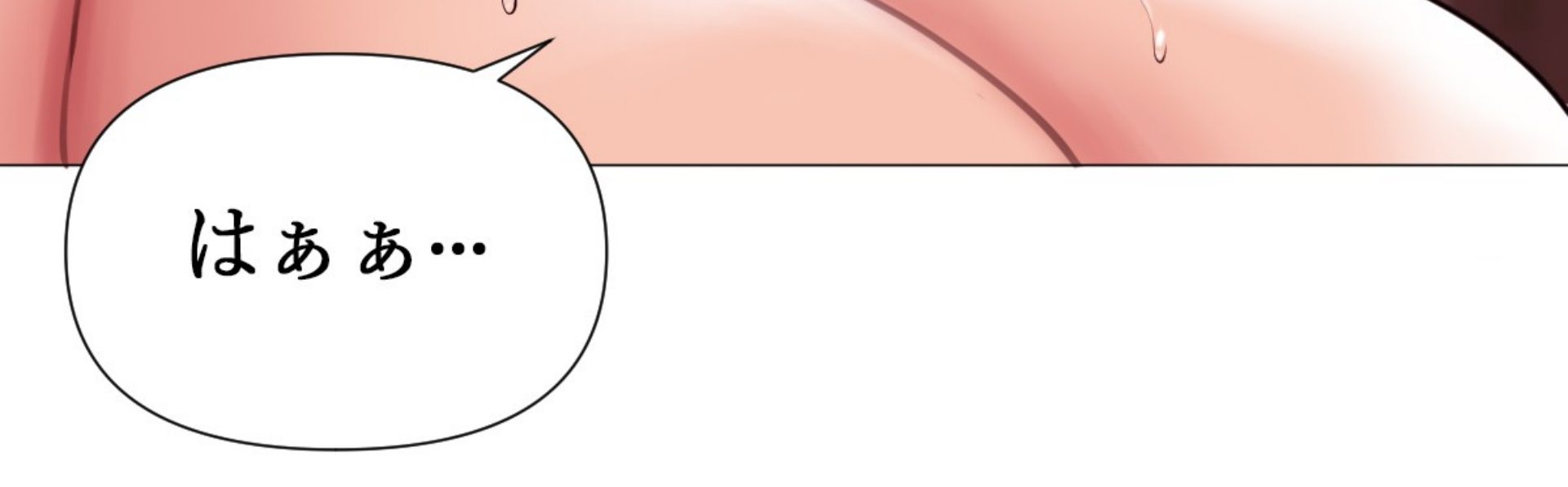
君のような完璧な女が
無意味な倫理意識のためにあんな
くだらない男を抱えて生きるなんて...



もったいなさすぎる。



.....



はああ...



きっと...
私を惑わせるための
巧みな言葉だけど...



なぜか...



夫のどんな
言葉よりも...

何倍も
恍惚と聞こえる...♡



くくっ!
リーダーの品格はどこにもなく、
弱々しい少女の顔をしているな。

どうだ?



取るに足らない
正義感なんて捨てて、
僕と手を組むのは。

何...?
それはどういう...



どうせ君の
警察署は完全に崩壊した。



君の命令に従う部下なんてもう
残っていない。

選択肢は二つだ。

すぐにこのすべてを上部に報告するか、



それともこの地域と警察署を統治する



カルテルのナンバー2になるか。



わからない...

すべてが
混乱している...



私を取り囲んでいた
堅固な世界が...

一瞬で崩壊した
気分だわ。



空っぽになった
信念を守るより...

いっそみんなに
従って...



禁断の領域に行った
方がいいのかも...

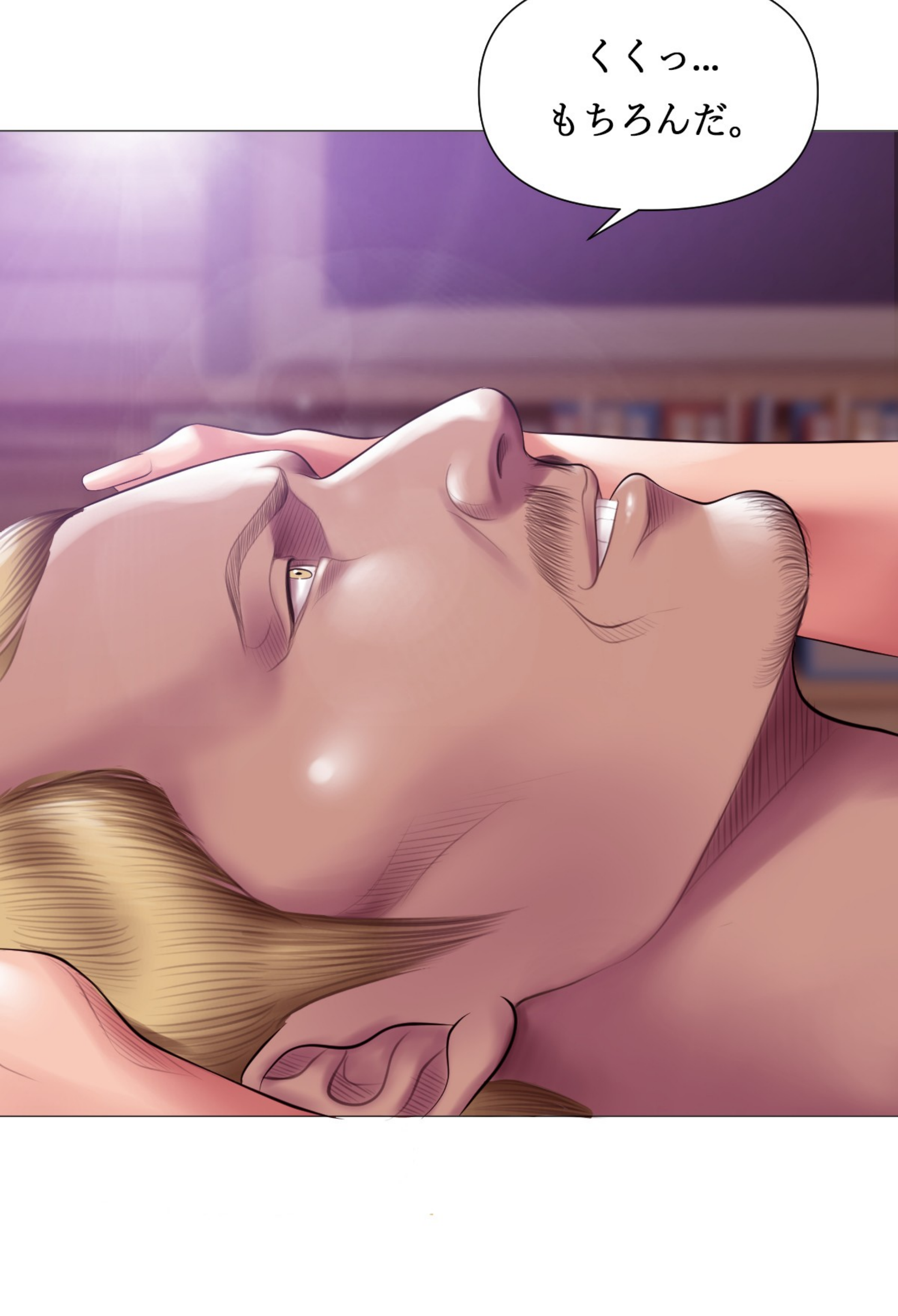


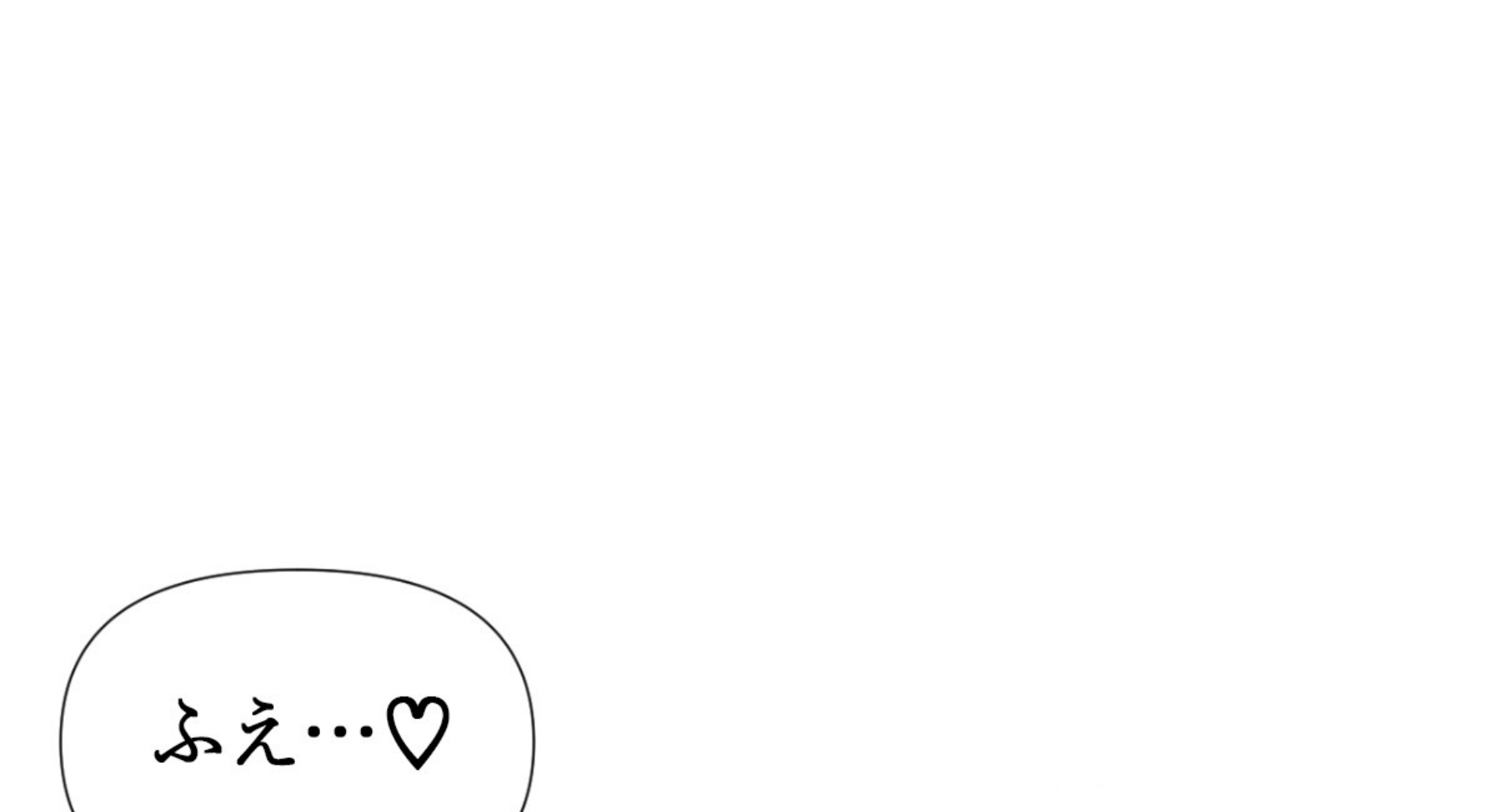
ぺろぺろ...

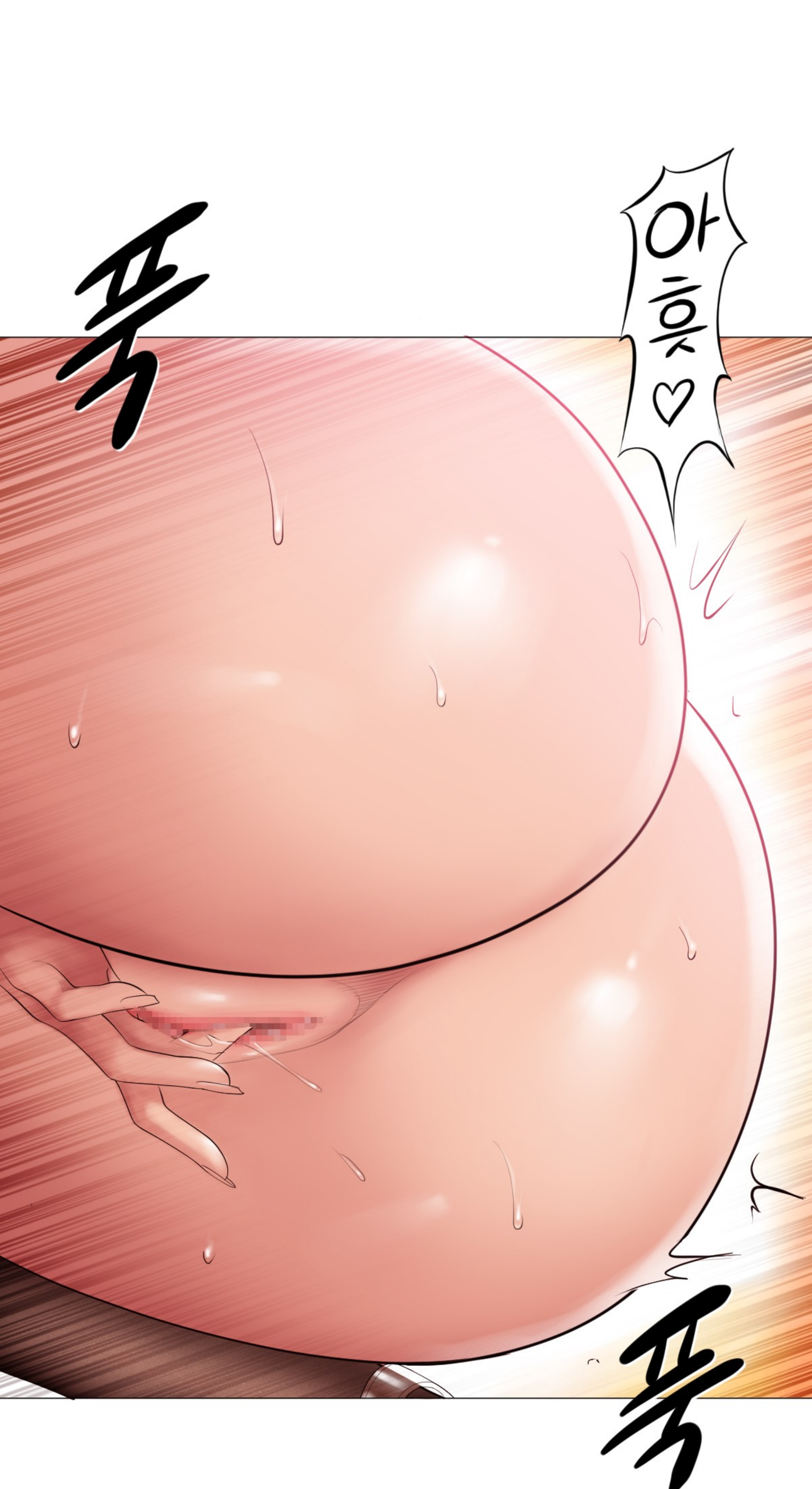
齧り

齧り

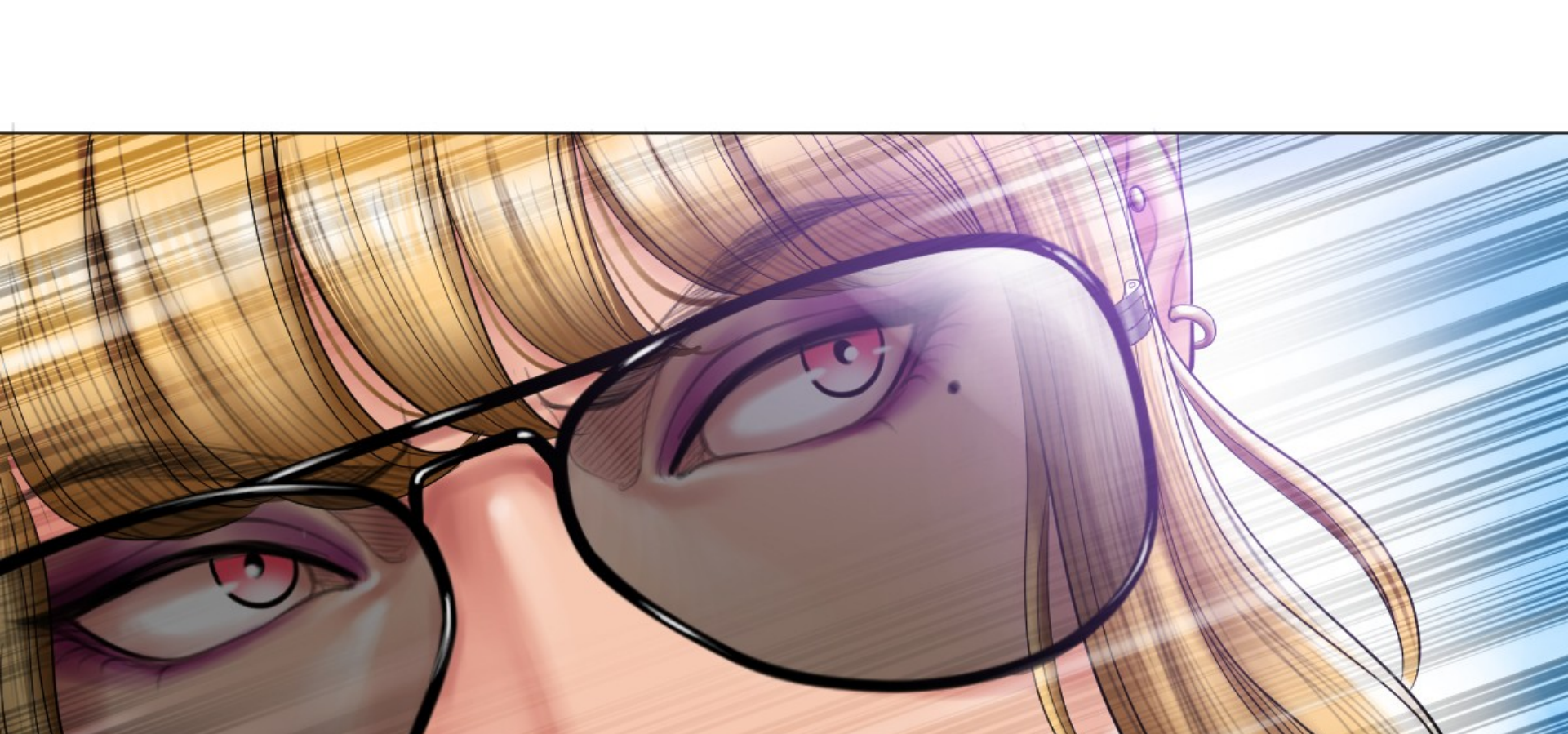
んっ...♡



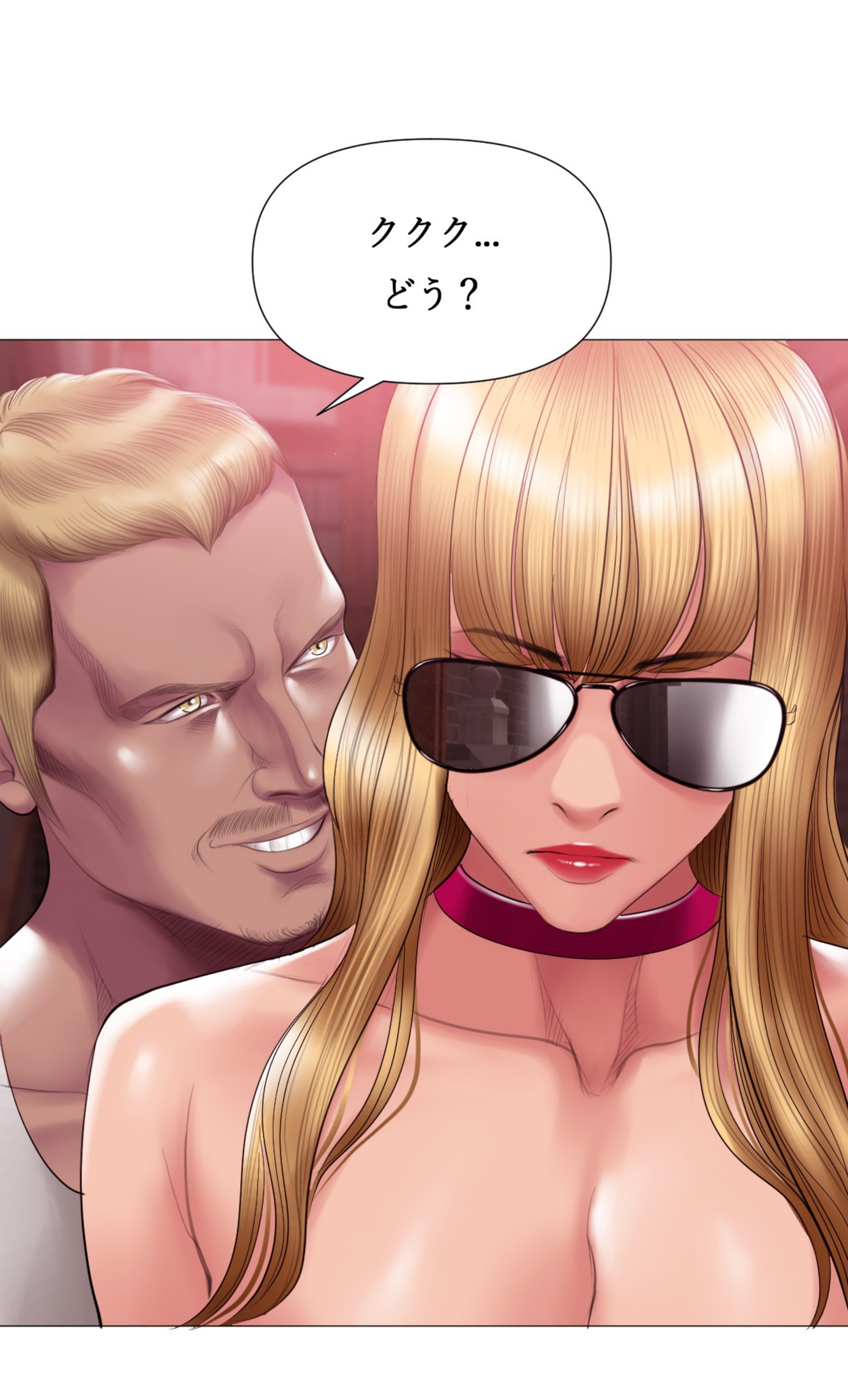












ごめんね、
あなた。

でも...

これはあなたが
自ら招いたことよ。